

コンテナは「運ぶだけ」ではない

— 吉田運送(株)と海外事例から見る新たな収益モデル —

■ なぜ今、コンテナ活用なのか

- 空コンテナ回送の増加（非効率・コスト増）
- ドライバー不足（2024年問題）
- デポの遊休時間・スペースの存在



「運ばない時間」に価値を生むことが重要

■ 海外ではすでに始まっている

● コンテナの再利用（物流最適化）

- 輸入後そのまま輸出へ再利用
- デポに戻さずマッチング



回送削減・CO₂削減・即収益化

● コンテナの空間利用（非物流）







5

- 商業施設・店舗
- サウナ・トイレ
- オフィス・住宅



コンテナ=建築・設備ユニット

● デポの高度活用

- ロケ撮影地
- イベントスペース
- 仮施設拠点



デポ=価値創出拠点へ

■ 吉田運送(株)の可能性

坂東デポ・佐野インランドポートを活用し、

- コンテナ改造（店舗・設備化）
- ヤードの多用途活用（ロケ場所）
- 空コンテナのマッチング（コンテナ・ラウンド・ユース）



物流+空間+事業の融合モデル

■ ESCOT 連携による拡張

- Kashikari.rent (資源マッチング)
- Inland Empty (空コン活用)



コンテナを「貸す・使う・繋ぐ」仕組みへ

■ 期待される効果

- 新規収益の創出
 - 空コン回送削減
 - CO₂削減 (GX 対応)
 - 地域活性化
-

■ 本セミナーの目的



コンテナを“運ぶ箱”から“ビジネス資産”へ



実際の事例をもとに

「すぐに使える活用アイデア」を共有します

■ ご参加・連携について

本取り組みにご関心のある企業様は
ぜひご相談ください

NPO ESCOT

<https://www.npo-escot.org>

Kashikari.rent